

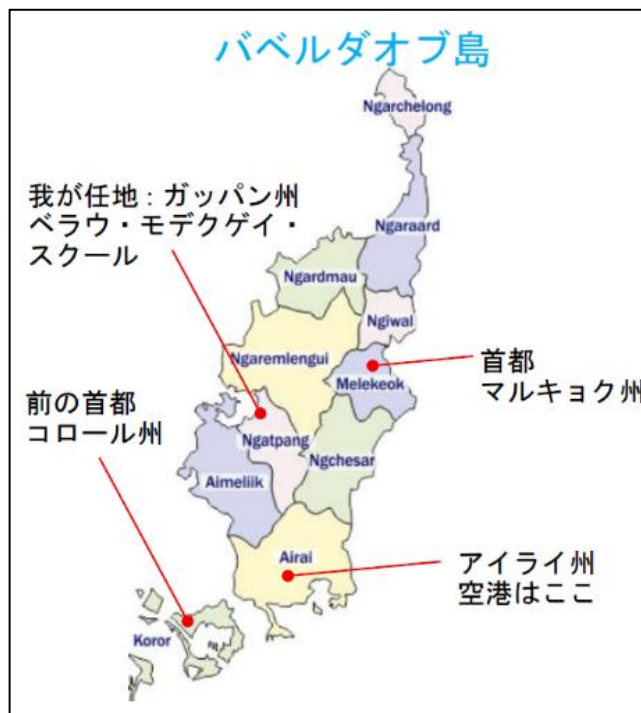


「Sulang」はパラオ語で「ありがとう」という意味です。(私が置かせていただいている環境に感謝を込めて)

○パラオの地図紹介

日本から真南約 3,000km に位置するパラオ共和国ですが、300 を超える島からなり、人が住んでいるのは9島で、地図にあるように最も大きなバベルダオブ島が目立ちます。パラオ共和国には16の州があり、州によって決まりも異なります。最も大きなバベルダオブ島には10の州がありますが、パラオで最も栄えていて、人口が集中しているのは前の首都のコロール州で人口 18,000 人のうちの 10,000 人以上が住んでいます。地図に載せることができていませんが、他にアンガウル島、カヤンゲル島、ペリリュウ島、ソンソロール島、トビ島などの有人の島があります。

私の任地のベラウ・モデクゲイ・スクールはバベルダオブ島のガッパン州にあります。



○パラオの学校事情

パラオにはエレメンタリースクールとハイスクールがあり、エレメンタリースクールには日本でいう小学校1年生～中学校2年生まで、ハイスクールには中学校3年生～高校3年生までが通います。エレメンタリースクールは各地に配置され約20校ありますが、ハイスクールは5校しかありません。コロール州にある公立のパラオハイスクールに多くの生徒が通います。

○任地紹介～生活編～

任地ベラウ・モデクゲイ・スクールは生徒数 25 名という非常に小さな学校で、多くの生徒が3人ずつ寮で暮らしています。学校事情で書いた通り、パラオにはハイスクールが少なく、多くの島に分かれて人々が暮らしているため、離島出身の生徒が多いです。任地のあるバベルダオブ島は大きい島ですが、人口は多くはなく、点々と集落があり、特に私の任地近くには徒歩圏内にお店也没有ありません。敷地内には生徒用の食堂があり、私にも提供していただいていて、食べ物に困ることはありません。夜ご飯は生徒達が当番制で作ります。



←←←

生徒が暮らす寮

食堂と食事の一例

→→→

